

平成31年度 重点事業

1 研修・学習機能の充実

(1) オーダーメイド型の施設単位講習会

- ・情報モラル学習、ICT活用講座、プログラミング教育、星空教室などの講習会を開催する。特にプログラミング教育の実施に向けた講座開催を各小学校に呼びかけ推進を図る。

(2) メディア講座

- ・幼児施設の職員を対象とした基礎基本メディア講座（年10回）の開催
- ・小中学校教職員を対象としたICTを活用した授業づくり講座（年4回）の開催
- ・授業づくり講座は、北村山小中学校メディア教育部会・教育委員会と連携して整備された機器環境に合わせた内容で開催し、講座の充実を図る。

(3) ICT活用・プログラミング教育実践事例集の作成

- ・環境整備の進展に応じたICT活用（タブレット等）の実践事例や小学校におけるプログラミング教育の実践事例を集め、実践事例集として作成する。
- ・ICT活用事例やプログラミング教育実践事例を、ホームページやメディア情報CD-ROMに掲載して、効果的な活用を広く発信し、充実化・推進化を図る。

(4) 移動学習の充実化

- ・LED化されたプラネタリウムの特性を活用し、理科の天体学習を充実化させる。
- ・プログラミング教育のビジュアル型プログラミング言語の操作学習を取り入れる。

2 一般公開事業の充実

(1) センターまつり

- ・夏と冬にセンターまつりを2回実施し、地域住民にセンター機能を開放する。

(2) 天体観望会

- ・4月 春の星座観察会、6月 木星の観望、8月 ペルセウス座流星群の観望
- ・地域行事やイベントと連携した天体観望会の開催（星と映画の夕べ、星空教室）

(3) 土曜日一般公開

- ・LED化されたプラネタリウムの特性を活用し、サタ☆プラの内容をより充実させる。

(4) その他

- ・視聴覚教材視聴コーナーを設置して、事前に教材内容を確認できるようにする。
- ・宇宙航空研究開発機構（JAXA）が推進するコズミックカレッジを継続開催し、子供たちの天文・宇宙に関する興味関心を育む（スターウォッチングクラブ会員）。

3 地域素材、機器材・教材の充実

(1) 自作視聴覚教材の制作

- ・地域素材を扱った自作視聴覚教材を制作し、子供たちの学習等に役立てる。

(2) 機器材・機材の充実

- ・学校教育や社会教育で有効活用できるDVD教材、コンピュータソフト等の視聴覚・情報教育教材を、学校教育専門部員や社会教育専門部員と検討し購入する。
- ・プログラミング教育推進のためにタブレットPCを整備し、移動学習等で活用する。
- ・貸出用プロジェクター等を購入し、利用者が安心して使えるように機器材の更新・整備を図る。